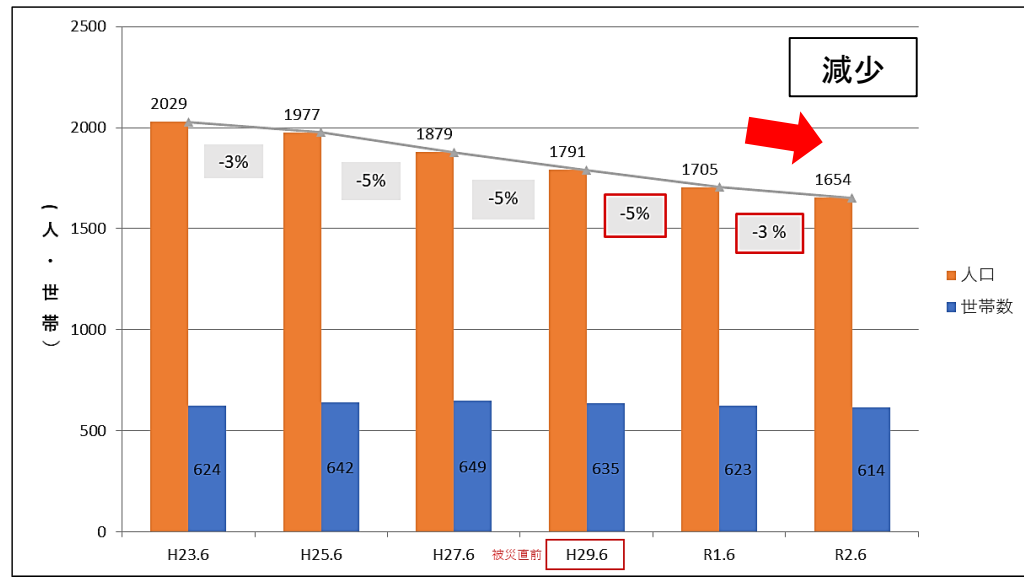


朝倉市復興実施計画(蜷城地区) 概要版 令和3年3月

(1) 蜷城地区の現状



令和2年6月末時点
人口:1,654人
世帯数:614世帯

(2) 平成29年7月九州北部豪雨被災状況

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件。このうち蜷城地区は1件である。

蜷城地区では、桂川の堤防決壊及び越水によって、周辺家屋や農地が浸水するとともに、道路が冠水により通行止めになるなど、大規模かつ広範な浸水被害が生じた。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要(り災証明書交付状況による、平成31年3月31日時点)

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

(3) 今までの意見(復興計画策定時の主な意見)課題

- 桂川の抜本的な改修
- 内水排除対策
- 福祉避難所の整備 等

(4) 今年度の意見(令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見)

すまいとコミュニティの再建について

- 宅地嵩上げ事業に関連して、浸水被害にあった家を建て替えるときの住宅用地の嵩上げに対する補助事業が検討できないか。
- 家屋で浸水した老朽空家(り災申請なし)の対策を求める。
- 中小路、藤島、町地区の浸水の原因について知りたい。
- 浸水対策について知りたい。
- 避難所(蜷城小学校)について知りたい。
- 井戸の水位低下について知りたい。
- 工事用車両について知りたい。等

安全な地域づくりについて

- 桂川改修について(築堤の土質、工事内容の周知不足など)
- 下長田の桂川左岸堤防の高さについて知りたい。
- 桂川の遊水地の進捗状況はどうなっているか。また、令和3年度までに桂川の改修は終わるのか。
- 出水期前対応で、桂川工事(橋梁工事付近)で土砂が残っている箇所があるが、大丈夫か。
- 長田水門の強制排水施設整備と長田川の改良事業を進めてほしい。
- 福祉避難所整備が必要である。等

産業・経済の復興について

- 蜷城は農業が基幹産業であるため、高齢者対策など担い手育成の対策が必要である。等

(5) 第1回まちづくり協議会

日時: 令和2年6月9日(火) 19:00~20:00
場所: 蜷城コミュニティセンター
参加者: 蜷城地域 22名、朝倉市 8名



議事内容

朝倉市

- 生活再建状況について
- 復興計画の進捗について
- 朝倉市復興実施計画について

質疑内容

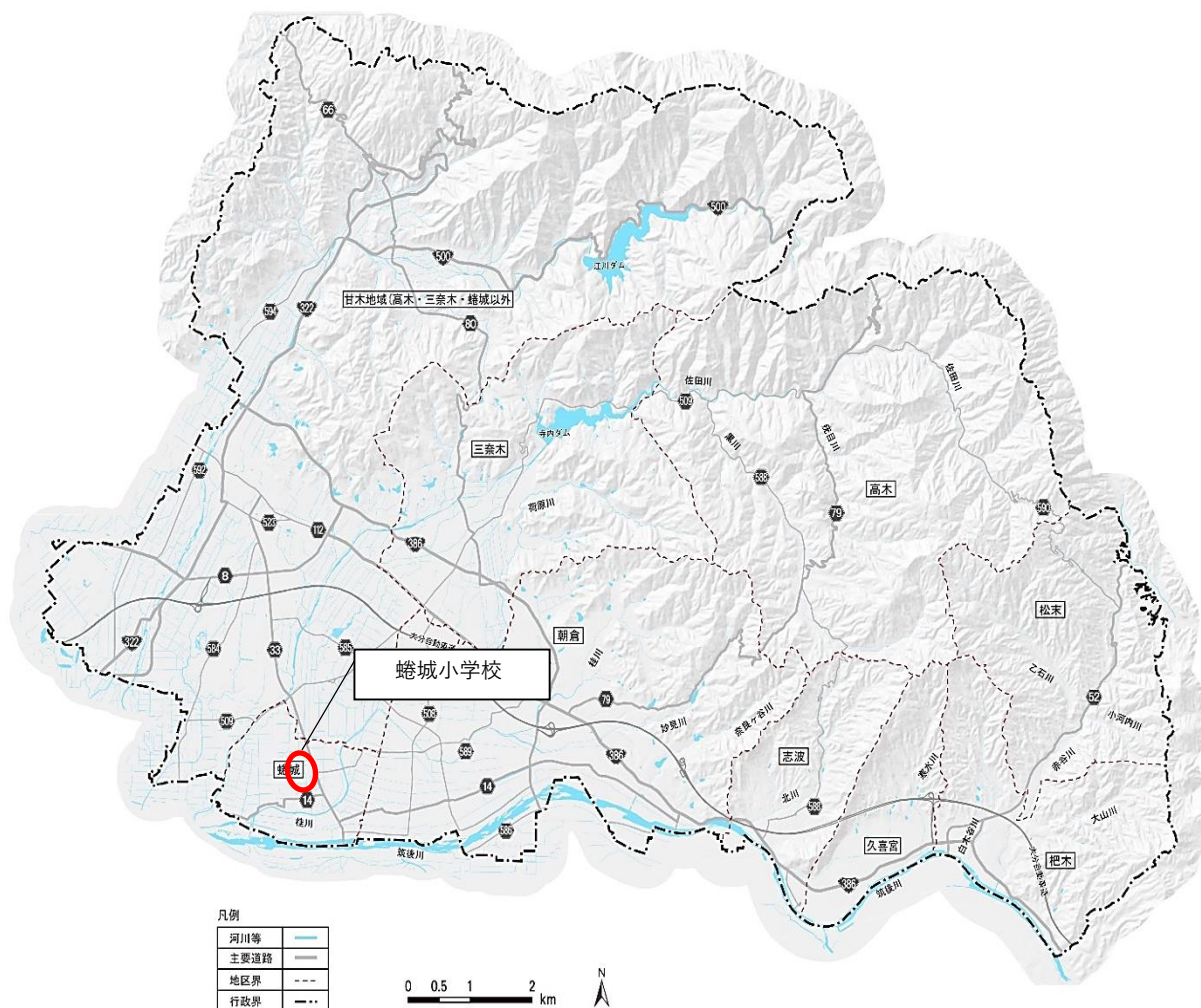
- 桂川の掘削事業を行っているが、また5~10年過ぎれば土砂が溜まってしまふ。根本的な対策を進めてほしい。長田水門に強制排水の施設の整備及び長田川の改良事業を進めてほしい。
- 荷原川と桂川の合流地点に遊水施設の整備を早く進めてほしい。今の進捗状況はどうなっているのか。
- 復旧事業の完了はR3年度を目指しているが間に合うのか。工期延長があるのか。
- 基幹産業である農業に関する実施計画について、ソフト事業に対する計画ばかりでハード事業に対する計画が不足していると感じる。各農家に農地利用のアンケートを実施していたが、その結果も報告してほしい。
- 蜷城には避難場所がない。指定されている避難場所は遠くて、高齢者や障がい者には困難である。以前から福祉避難施設を要望している。
- 被災宅地嵩上げ事業について、嵩上げをする場合の補助金や助成金を検討してほしい。
- 井戸水の水質検査を市にお願いしたが受け付けが終了していた。希望者は、全員検査できるようにしてほしい。
- り災証明申請が、床下浸水したことが証明できなかったため受け付けてもらえなかった。受付の緩和を検討してほしい。
- 床上浸水して空家になっている。床上浸水し、家屋も傷んでいると思う。所有者は何もしない。行政から指導等はしてもらえないのか。
- 桂川の整備が進んでいるが、まだ、土砂が残っているように思う。桂川に残っている土砂は、今後もそのままなのか。取り除いてもらえないのか。

(6)復興にむけた具体事業

①蜷城小学校の避難所(避難施設)機能の充実

蜷城地区は、高齢化率が市平均を上回る約40%で高齢化問題が深刻な地域であると共に、地域一体が浸水想定区域である。また、年々増加する豪雨被害に対応するため、より安全・安心に地域住民が避難できるよう地域の实情に合わせた避難施設の機能充実が求められている。

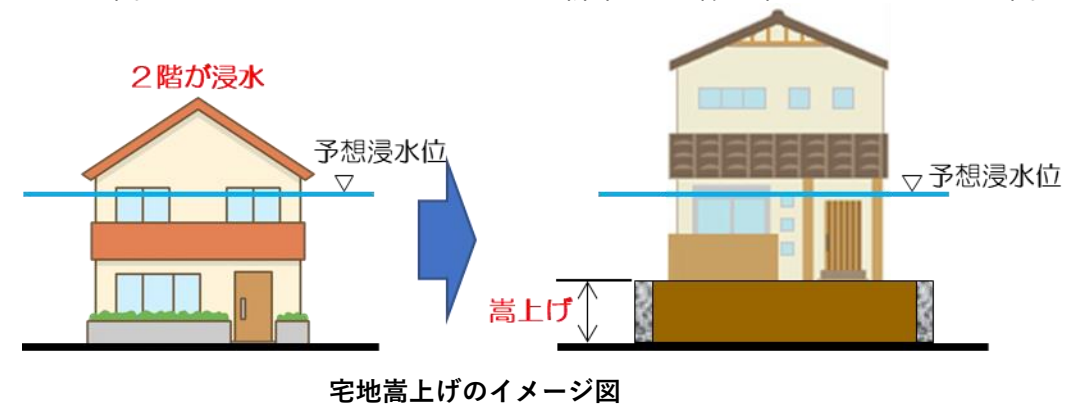
避難所として小学校(3階建て)を利用できるようにした。



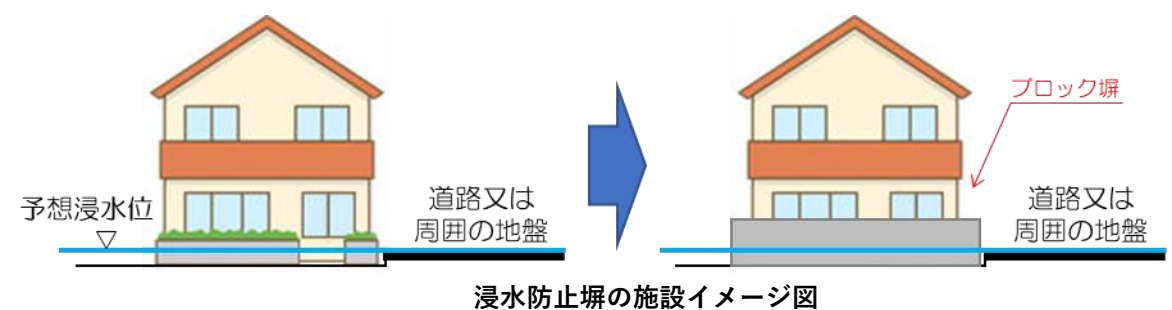
②宅地浸水対策促進事業

定住促進を図るため、浸水による家屋の被害を防止し、又は軽減する宅地の嵩上げ工事又は浸水防止施設の設置工事を行う方に対し、国の補助金を活用して、経費の一部を補助金として交付する。

a. 宅地嵩上げ工事・・・住宅用家屋の新築又は増改築時の宅地の地盤嵩上げ工事



b. 浸水防止塀設置工事・・・住宅用家屋への浸水を防止するために行うブロック塀等の設置工事



c. 浸水防止板設置工事・・・住宅用家屋への浸水を防止するために行う板の設置工事

